

令和7年10月21日

東浦町議会議長 殿

議会広報特別委員会

委員長 赤川操恵

議会広報特別委員会視察先検討結果書

1. 視察先選定に至る経緯

(1) 令和7年5月30日(金) 第1回検討会議(第1委員会室)

*研修視察の概要等について提示。

- ・令和元年から6年までの町村議会広報の表彰一覧表
- ・7月14日(月)までに候補及び理由をメールで提出

(2) 令和7年7月14日(月) 第2回検討会議(第1委員会室)

*意見の集約(以下のとおり委員から提案)。

*各委員が持ち寄った調査研究すべき調査事項。

- ・大川委員から紙面だけでなく、動画を活用した発信の取り組みの研修研鑽を目的としたい。
- ・水野委員から表紙デザインに注目し、初受賞した自治体の研鑽を目的としたい。
- ・北野委員から視覚に訴えて読みやすい広報紙。デジタル技術を活用した広報広聴活動の充実の取り組みを研修研鑽の目的としたい。
- ・長坂委員から柔軟なWEBサイトの取り組みを研鑽の目的としたい
- ・森委員から議会基本条例の制定を見据え、議会広報の「見せ方」「見え方」「開かれた議会」を積極的にアピールできる紙面づくりの研鑽を目的としたい。
- ・委員全員で意見交換し、テーマと視察先候補を決めた。

(3) 令和7年10月3日(金) 第3回検討会議(ラインワークス)

*補欠候補地を検討

(4) 令和7年10月8日(水)第4回検討会議(第1会議室)

*視察テーマの確認。視察日程の検討。

*10月20日までに質問事項の案をメールで提出

2. 視察候補日

*令和8年1月21日から2月6日の間で

3. 調査事項および視察候補地

(1) 「デジタル技術を活用した広報紙について」……神奈川県開成町

(2) 「住民と作る議会だよりの取り組みの研修」……静岡県長泉町

4. 調査事項の選定理由

令和7年度町村議会広報研修会の議会広報クリニックで、東浦町議会だよりの課題として、「収納スペースに対して、情報量が多めの傾向にあり、見出しや視覚要素の大きさは今一步」「住民の意見や要望を受け止める常設企画もほしい」との指摘があった。

(1) 「デジタル技術を活用した広報紙について」の選定理由は、本町の議会タブレット導入を機にICT化への関心が高まっている。動画の活用やWEBページをはじめとしたデジタル技術と広報紙の連動の手法など参考となると考え決定した。

(2) 「住民と作る議会だよりの取り組みの研修」の選定理由は、本町の議会だよりは、住民の意見や要望を受け止める企画制作、小見出しの効果的な活用が課題となっているため、町民インタビューをはじめとした、住民参加で親しみの持てる紙面づくり。見出し、中見出し、紙面の使い方を研鑽したいと考え決定した。

5. 補欠候補地

(1) 「デジタル技術を活用した広報紙について」の補欠候補地

・ 宮崎県宮崎市

(2) 「住民と作る議会だよりの取り組みの研修」の補欠候補地

・ 奈良県王寺町

6. 視察先の選定理由

「デジタル技術を活用した広報紙について」

① 神奈川県開成町は、議会のデジタル化を契機に、「読む」から「見る」への広報変革をスタートさせた。議会専用のホームページを開設し、様々な動画を配信。一例として「日本一短く説明する一般質問動画」は、議員自らが撮影・編集したもの。親近感がわく内容となっていると評価されている。

また、WEBと連動して広報紙の編集についても、ページをめくってみたくなる編集へ大幅に変えることで、紙面とウェブとの連携による「開かれた議会」が実践されている。

これらの取り組みが、今後の本議会だよりに活かせるのではないかと考え選定した。

② 宮崎県宮崎市は、デジタル技術を活用した住民への情報提供と対話促進に取り組んでいる。WEB限定記事を掲載し、紙媒体からデジタル媒体へ積極的に誘導、またWEB上で読者アンケートを実施し、市民からの意見を誌面制作に活かす等のデジタルとリアルを融合させた取り組みを参考にしたいと考え選定した。

「住民と作る議会だよりの取り組みの研修」

① 静岡県長泉町は、令和6年度の町村議会広報表彰（広報コンクール）で8位入選されている。もっと読まれる議会だよりの思いで210号から紙面をリニューアルした。議会だよりの愛称を募集や、町民インタビューをはじめとした、住民参加で親しみの持てる紙面づくり。見

出し、中見出し、紙面の使い方を研鑽したいと考え選定した。

- ② 奈良県王寺町は、町村議会広報表彰（広報コンクール）で令和5年度、令和6年度と複数回入選。第19回マニフェスト大賞、優秀賞・優秀プレゼンテーション賞をW受賞されている。おうじ議会だよりは【あなたと議会をつなぐガイドブック】とのコンセプトを掲げる。より良い企画・内容へとアップデートするために、WEBアンケートを掲載し、そこから住民の声を聴き、つながる議会だよりへとアップデートを図っている。その工夫と取り組みを参考にしたいと考え選定した。

7. 質問事項（案）

テーマ「デジタル技術を活用した広報紙について」

委員長

- ・ 広報活動にデジタル技術を導入するに至った経緯を教えてください。
- ・ 議会専用のHPの立ち上げにあたって、議員からどのような意見があったか教えてください。
- ・ 撮影技術の習得のための研修などは行いましたか。
- ・ 紙面とウェブとの連携をどのように考えられているか教えてください。

副委員長

- ・ 議会事務局の人事異動がきっかけで広報改革から動画配信へと続いていったようですが議会事務局と議会が一致団結して進めてきた経緯を伺います。
- ・ 一般質問の動画をビフォー・アフターによる発信を始めようと思われたきっかけや背景と効果を伺います。
- ・ 令和5年度以降の議会報告会のビデオ配信についての現況を教えてください。
- ・ 動画配信による効果や、町民からの反応を教えてください。
- ・ 一般質問や議会報告会の動画の撮影・編集はどのような体制で行っている

かを伺います。(個人・チーム・事務局支援など)。

- ・ 使用している撮影機材や編集アプリ（タブレット内蔵アプリなど）を具体的に教えてください。
- ・ 動画制作の技術研修やスキルアップの機会をどの様に設けているかを伺います。
- ・ 議会ホームページの制作にかかるコスト（機材費・ソフト・納期等）を伺います。
- ・ 動画が長時間にならないようにする工夫や、町民が見やすい構成上のポイントを教えてください。
- ・ YouTube チャンネル開設の経緯と運用ルール（投稿承認・著作権管理など）を教えてください。
- ・ 議員が自ら動画を制作するうえで、苦勞された点や課題は何ですか。
- ・ 動画発信を今後どのように発展させていきたいと考えているかを伺います。

北野委員

- ・ デジタル技術を活用することとした経緯を教えてください。
- ・ 12名の議員さん全員で作成されていますが、役割分担はどのようにして決めるのか教えてください。
- ・ 広報紙作成に当たっての手順やご苦勞されている部分を伺います。
- ・ 住民からの反響やご意見・要望等が有れば教えてください。
- ・ 今後の更なる目標・展望を伺います。

長坂委員

- ・ 貴議会の動画を活用した WEB サイトは議会というより民間に近いものに見えますが、ここまで変えるのに、抵抗感が各議員にありませんでしたか。反対

する議員はいなかったか伺います。

- ・実際の動画再生回数等（一定時間視聴する回数）はどのようになっているか伺います。
- ・現在も議会だよりは発行していますか。また議会の広報チャンネルの住み分けの考えを教えてください。

水野委員

- ・4ページしかない紙面にどのようにして記事の選別をするのか教えてください。
- ・ホームページにて、開成町議会をタップすると、華やかな動画が流れてきますが（ガンプラ）、このアイデアは、議員自らテーマを決めて、業者に依頼するのか、議員たちが行うのか教えてください。

森委員

- ・高齢者や紙媒体中心の世帯への配慮として、紙とデジタルの「役割分担」や「併用バランス」の考え方を教えてください。また、完全移行ではなく「併走する広報」としてどのような線引きをされていますか。
- ・広報紙のデジタル化を、開成町のDX推進・情報発信戦略の中でどのように位置づけておられますか。また、導入に至った背景（紙の限界／若年層対策／双方向性向上等）と担当部署の体制を伺います。
- ・デジタル版の閲覧データ（年齢別・時間帯・記事別クリック数等）をどのように分析し、紙面構成や企画の改善に活かしていますか。また、分析ダッシュボードやKPI設定など運用ルールがあれば伺います。
- ・映像による情報発信（動画配信・ライブ配信等）にも積極的に取り組まれていると承知していますが、紙媒体・テキスト情報ではなく映像に力を入れておられる理由と、期待している効果（特に若年層・子育て世帯・イベント周知等の観点）について伺います。

「住民と作る議会だよりの取り組み」

委員長

- ・親しみを持って読んでもらえるために、心がけていることや紙面づくりのコンセプトを伺います。
- ・紙面デザイン、配色などはどの様に決められているか教えてください。
- ・リニューアル以前と比べて住民と議会の距離感に変化したか伺います。
- ・変化を感じるエピソードがあれば教えてください。
- ・インタビュー記事など住民登場の記事で配慮している点を教えてください。

副委員長

- ・「町民と一緒に作る議会だよりの」を始めたきっかけや背景を伺います。
- ・「みらいずみ」という愛称募集に図書券5千円とされていましたが、記事への協力に対する謝礼はありますか。
- ・編集委員会（または広報特別委員会）の体制はどのようになっていますか。
- ・町民への取材方法は、どのようにされていますか。
- ・「手に取りたくなるような明るいデザイン」を目指して、特に意識しているポイントは何ですか。
- ・写真や色使い・レイアウトなどのデザイン面は、外部デザイナーを活用していますか。それとも議会内で制作されていますか。
- ・読みやすさ・親しみやすさのために工夫している点（文字量、フォント、アイコン等）はありますか。
- ・各号の特集テーマや掲載内容はどのように決定しているか教えてください。
- ・町民参加を広げるうえで印象的だった取組やエピソードがあれば教えてください。

- ・ 「みらいずみ」に対する町民からの反応やアンケート結果をどのように評価されていますか。
- ・ 町民参加型広報を継続・発展させるうえで、課題と感じている点はありませんか。

北野委員

- ・ 広報公聴常任委員会は、現在委員長以下 8 名体制ですが、以前から常任委員会でしたか、また体制も以前から 8 名でしたか。リニューアルしたNo.210号から現体制になったのでしょうか。
- ・ 委員会メンバー 8 名の役割分担はどのようにして決めるのか教えてください。
- ・ 住民への取材、インタビューなどの担当割振りなどはどのようにして決めるのか教えてください。
- ・ 広報誌作成に当たっての手順やご苦労されている部分を伺います。
- ・ リニューアル後の住民からの反響やご意見・要望等を伺います。
- ・ 今後の更なる改善点や展望が有れば教えてください。

※一般質問は、平均 7～8 名なののでしょうか。

長坂委員

- ・ 議会だよりの名称「みらいずみ」は、何からきているのか伺います。
- ・ 2024 年 5 月から議会だよりをリニューアルされていますが、きっかけと新しくなり心がけているところを教えてください。

水野委員

- ・ 住民参加、写真が多いですが、毎回テーマを考えて、住民さんを決定し掲載をお願いするのか。載せる住民さんを決定する手法を教えてください。

森委員

- ・紙面づくりにおいて、住民自身の顔・言葉・写真が多く登場する構成となっていますが、あえて“住民が主役になる紙面”を意識されているのか、その狙い（共感性向上・議会理解促進など）を伺います。
- ・議会広報にも“住民の声を載せる”という視点が重要だと考えていますが、長泉町が“みらいずみトーク”という住民対話の場を設けた理由は何でしょうか？議会広報や政策形成との連動があれば併せて伺います。
- ・広報紙「みらいずみ」では、見出し等において人数・割合・金額など“大きな数字”を前面に出されている紙面構成が印象的ですが、数字を強調する広報を意識的に採用されているのか、その狙いや効果（直観的理解・関心喚起等）について伺います。

8. 視察までの予定（勉強会の実施等）

- ①議長へ本書により報告し、議会事務局に視察先との調整を要請。
- ②議会事務局より調整完了した視察先の報告を受け、議長に所管事務調査通知書を提出し、視察先に依頼文書を送付する。
- ③ 事前勉強会の実施
 - *令和7年8月5日（火）13時～
第38回愛知県町村議会広報研修会を勉強会に代える。
 - *令和7年10月8日～令和7年12月22日の期間
各委員がアーカイブ動画視聴により勉強会に代える。

9. 視察候補地の参考資料

- 神奈川県開成町（令和7年9月1日現在）
 - *人口世帯数
 - 人口：18,710人（男性9,039人・女性9,671人）
 - 世帯数：7,525世帯
 - *開成町議会 議員数：12人（男性9人、女性3人）
- 静岡県長泉町（令和7年9月1日現在）
 - *人口世帯数

人口：43,515 人（男性 21,456 人・女性 22,059 人）

世帯数：19,307 世帯（男性 21,456 人・女性 22,059 人）

*長泉町議会 議員数： 16 人（男性 13 人、女性 3 人）